

地球温暖化防止

エコラム ECO-LUMN

Vol.96

〒地球温暖化対策室

☎295100

地球温暖化の影響

気象庁によると、2014年の世界の年平均気温は、統計を開始して以降で最も高い値となりました。世界の気温は長期的に見て100年あたり約0.7℃の割合で上昇しています。特に1990年代半ば以降高温となる年が多くなっており、温暖化がますます進んでいると考えられます。

国連の報告書（IPCC第5次評価報告書）によると、2100年頃の世界の気温は、2000年頃に比べて最大で約4.8℃上昇すると予想されています。今年1月に公表された環境省審議会の報告書案では、将来の温暖化の日本国内への影響について、農林水産業、自然生態系、自然災害などさまざまな分野について評価をしています。



ので、その概要を紹介します。

コメや野菜、果物などについて、現在の主力産地の多くが栽培しにくい気候となるために産地が北上します。また、シロザケやブリなどの回遊性魚介類についても、適水温海域の北上にともない生息分布が北上します。自然災害について、洪水を起こす大雨が増加するとともに、海面上昇や強い台風の増加によつて高潮・高波による被害の増加や海岸侵食により砂浜の消失が進みます。その他に、感染症や動植物分布域などについても言及しています。

二酸化炭素などの温室効果ガスの増加が地球温暖化の主な原因と考えられており、私たちの暮らしの在り方は早急に見直す必要に迫られています。

ごみ

ちょっと気にして、
もっと気にして!

環境事業課 ☎315304
総合支所

ごみの減量 パート2

本市の焼却ごみの内訳は、紙類が47%、生ごみが42%であり、これらが全体の約90%を占めています。

その中には、資源品である紙類（雑誌、雑がみ、段ボールなど）や賞味期限切れで開封されないままの食品・食べ残しなど、きちんと分別することでリサイクルできるものや、食べることでごみにならずに済んだものがたくさん含まれています。特に生ごみは、少しの心掛けで減らすことができます。

『必要以上に買い物をしない』『食べ物を無駄にしない』『食材を有効活用し、捨てる部分を最小限にする』『しっかりと水切りをする』など、環境にも皆さんの家計にもやさしいこれらの取り組みを実践してみましょう。

生ごみ処理機器購入の補助金制度があります



■ごみ処理家計簿

減量効果		1月分(前年同月比)
増	処理費用換算	-871万円
減	排出量 (1人1日当たり)	795g (-62g)

※処理費用は、処理に要する経費と排出量から単純に計算したもので、実際の金額とは異なります。